

事業所名 KID ACADEMY+ROKKO EDUCATION

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

12月

15日

|                 |  |         |     |     |  |    |  |
|-----------------|--|---------|-----|-----|--|----|--|
| 法人(事業所)理念       | 私たちは子供達の未来の為に最善を尽くします。   |         |     |     |  |    |  |
| 支援方針            | 子どもは自らのうちに自分を成長させる力を持っており、大人はその要求を受け止め自由を保障することによって、子どもの自発的な活動を支援する存在でなければなりません。「発達」の原動力は活動や経験、環境であると考えています。お子様一人ひとりの発達段階を理解し、科学的根拠に基づく知識と重要性を理解した指導員が発達をより良い方向へ導くために一人一人のお子様に合った環境を準備し提供致します。 |         |     |     |  |    |  |
| 営業時間①           | 10時  | 分から     | 18時 | 分まで | 送迎実施の有無  | あり |  |
| 営業時間②           | 9時   | 分から     | 17時 | 分まで |  |    |  |
| 支 援 内 容         |  |         |     |     |  |    |  |
| 健康・生活           | 生活動作 ①荷物整理、排せつ、更衣、食事(着衣の着脱、排せつなどの生活に必要な活動の必要性に気づき、自分ですることができるようになる)  |         |     |     |  |    |  |
|                 | 生活動作 ②身の回りの物やみんなで使うものを大切に扱う。   |         |     |     |  |    |  |
|                 | 生活動作 ③その日の活動の流れを理解し、見通しを持って過ごす。  |         |     |     |  |    |  |
| 運動・感覚           | 運動 ①有酸素運動・器具を使用した体幹運動 (ボール等を使用した運動を通して、他者との距離感や力加減、ボディイメージの構築・自己コントロールの向上を目指す。)  |         |     |     |  |    |  |
| 認知・行動           | ワーキングメモリトレーニング ①数処理・数の概念の理解(数詞・数字・具体物・順番) 数量・大小・色などの概念の習得  |         |     |     |  |    |  |
|                 | ワーキングメモリトレーニング ②視空間性短期記憶・言語性短期記憶・ワーキングメモリを使ったごっこ遊び(見る力・聞く力の発達、短期記憶の向上、一時的に記憶した情報を処理する力を発達させる、一連の手順を記憶することによって集中力を高める、注意力の向上、知性・社会性の発達)   |         |     |     |  |    |  |
|                 | 学習サポート ①学習の土台作り・自分に合った学び方を見つける(話す・読む・書く・読解・思考・推論・学習環境・注意集中職の向上)  |         |     |     |  |    |  |
|                 | 学習サポート ②学習システム「すらら」を使用し、学習の土台作りと個々のつまずきに対応した学習サポート   |         |     |     |  |    |  |
|                 | 非認知・日常体験プログラム 感覚遊びや製作・実験、季節を感じる体験を通して想像力・創造力の向上をサポート また、好奇心を掻き立て、観察力や思考力・洞察力の向上をサポート   |         |     |     |  |    |  |
| 言語<br>コミュニケーション | ディスカッション・ディベート、相手の気持ちの理解 (日々の他者との関わりの中で、自分の考えを伝え、他者の意見を聞くこと・理解すること・受け入れることを学ぶ。また、言葉を聞き分けたり集中力・注意力の向上もサポート)   |         |     |     |  |    |  |
| 人間関係<br>社会性     | 協調性や社会性の向上 グループ活動を通して自分の気持ちを理解すること、自分の気持ちを伝えて相手の気持ちを理解することをサポート(ディスカッション・ディベート) 他者との距離感、力加減を調整し、協力して物事を進める力の向上をサポート  |         |     |     |  |    |  |
| 家族支援            | 個別懇談(半年に一回以上)・保護者会(年に1回以上) ※その他必要に応じて家庭訪問や個別面談を実施  | 移行支援    |     |     | 移行に向けての意向アンケート・情報提供及び情報収集<br>教育相談・サポートファイル及びサポートブックの作成支援             |    |  |
| 地域支援・地域連携       | 地域の会や自立支援協議会など関係機関との連携を行う。<br>学校園からの相談や共有があれば療育的視点での提案や助言を行う。  | 職員の質の向上 |     |     | 発達特性と支援の手立てについて研修等で学び専門性を高める。<br>支援中での気付きや変化は職員間で共有し、積極的に事例検討会を実施する。 |    |  |
| 主な行事等           | 季節に合わせた各種行事、長期休業期間等は地域活動・運動活動・認知非認知プログラムを目的とし、外出イベントを実施。(子ども食堂・地域の公園・工場見学など)   |         |     |     |  |    |  |